



2024年度 日本顎咬合学会

# WEB認定医教育研修会

テーマ 咬合とオーラルフレイル予防

配信期間

2025年1月20日(月)～26日(日)

講師

講演1 加々美 恵一 先生 (大阪府開業)

講演2 俵木 勉 先生 (埼玉県開業)

講演時間 お一人あたり約60分

申込みメド

2025年1月8日(水)

受講料

会員歯科医師 ¥8,800(税込)

会員歯科技工士・歯科衛生士 ¥5,500(税込)

会員歯科助手・準会員 ¥3,300(税込)

申込み方法

Webサイトよりお申し込みください  
URL <https://ago.ac/>



※入金後はいかなる理由にもかわららずご返金は致しませんので予めご了承ください

※日本歯科医師会にご所属の先生は生涯研修登録が可能ですので、お申込みの際に番号を入力してください

挨拶

認定審議運営委員会委員長 松崎浩成

今年度の認定医研修会は、多くの先生に、そしてより理解度を深めていただくために反復聴講可能なWEBオンデマンド配信にて行うことと致しました。

今回のテーマである『咬合とオーラルフレイル予防』は、『人生100年時代』が、目標ではなく現実的な現象となりつつある現代、この分野の専門家である我々がこれらをよく理解し臨床において実践することが、大きな責務であるといえます。

加齢による身体機能の衰え(フレイル)をいかに緩やかにするか、その鍵は、オーラルフレイル予防にあるといえます。フレイルの提唱者である飯島勝矢先生は、いくつかある予防対策の中で、『食の安定性は大きな効果を発揮し、早期の衰えのサインとして歯科口腔分野の軽微な(些細な)機能低下や食の偏りが、全身の衰えにつながる。口腔機能の総合的な維持向上が、いつまでも元気な自立生活を維持できるかどうかの分岐点である。』と述べられています。

この口腔機能の維持向上に欠かせないのが、いうまでもなく健全な咀嚼摂食嚥下機能を営むことができる咬合状態を保つことです。

今回、これらについて精通し、臨床例も数多く経験されておられる加々美恵一先生、俵木勉先生にご講演をお願い致しました。

先生方の今後の臨床にお役立ていただければ幸いです。

WEB オンデマンド配信 URL・パスワード発行

今大会はWEBオンデマンド配信となりますので、配信期間中であればいつでも視聴いただけます。

参加登録とご入金の確認後、WEBオンデマンド配信URLとID&パスワードをご登録のメールアドレスにお送りいたします。(配信の1週間前頃の予定)



加々美 恵一 先生 大阪府開業  
Keiichi Kagami

PROFILE

1980年 大阪歯科大学卒業  
1982年 カミムラ歯科医院勤務  
1989年 カガミ歯科医院開設  
2017年 大阪歯科大学小児歯科学講座  
日本顎咬合学会 指導医



俵木 勉 先生 埼玉県開業  
Tsutomu Tawaragi

PROFILE

1982年 城西歯科大学歯学部卒業  
1986年 城西歯科大学大学院博士課程修了  
1989年 埼玉県狭山市にていつみや歯科開業  
2016年 明海大学歯学部 臨床教授  
日本顎咬合学会 指導医

正しい咀嚼摂食嚥下機能を営むことは、全身の健康の維持、増進に役立つことが広く国民にも理解されている。だが、噛むための学問である咬合学はその範囲の広さと、いまだ解決されていない問題も多くあるため、学ぼうという姿勢を作ることがなかなか難しい。しかし、咬合を学会名としている日本顎咬合学会は、この学問をより多くの会員に浸透させ、理解してもらい、会員が日々の臨床で実践することにより、国民の健康維持増進に寄与しなければならないという使命がある。

そこで、今回、超高齢社会である日本の現状をかんがみ、オーラルフレイル予防、高齢者にとって良く噛めることがいかに健康に長生きするために必要なのかを考察したい。1989年に開始された8020運動は2016年に達成者が5割を超え、一定の役割を果たしたと考えられる。近年の研究では残存歯が少ないことより機能歯が少ないことが全身の様子に関わることがわかっている。噛める義歯を国民に提供しなければならない私達は、まず、噛むための学問である咬合理論の基本を理解し、さらに臨床ではどのように咬合学を実践しているかを供覧したい。

10単位  
取得

認定医・指導医  
認定歯科技工士・指導歯科技工士  
認定歯科衛生士・指導歯科衛生士

※お二人の講演をすべて受講して10単位(お一人だけの講演を受講されても単位は取得できません)  
※受講後の画面上に表示されるアンケートへのご回答をもって受講終了となります。